

交付運用報告書 2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）

i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF
iShares TIPS Bond ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2021年10月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、物価連動の米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年10月末日

1口当たり純資産価格（基準価格）	128.61米ドル
純資産総額	35,868,635,300米ドル
2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）	
トータルリターン	6.67%
1口当たり分配金額	4.908521米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

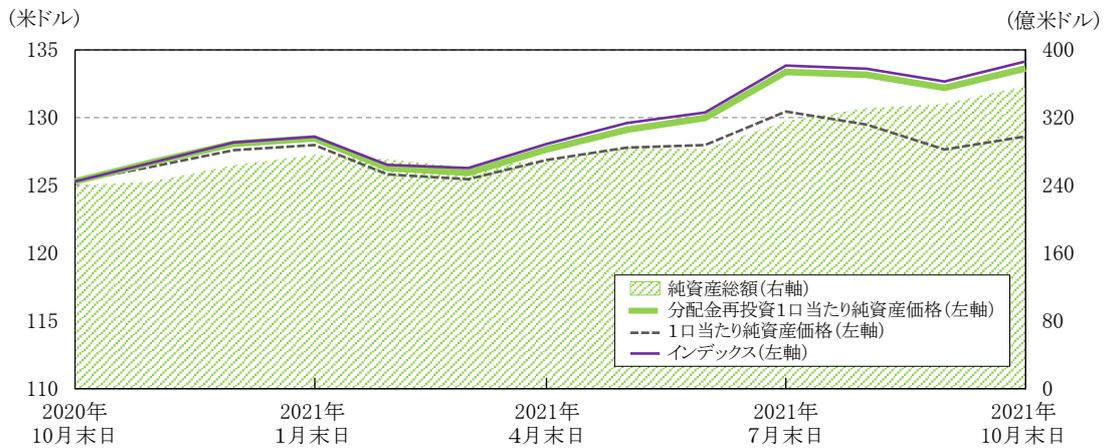
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2020年10月末日現在の1口当たり純資産価格：125.29米ドル

2021年10月末日現在の1口当たり純資産価格：128.61米ドル

(1口当たり分配金額：4.908521米ドル)

トータルリターン：6.67%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、ブルームバーグ・パークレーズ・米国TIPS インデックス (シリーズL) (以下「インデックス」といいます。) です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2020年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

米国債券市場概観

2021年10月31日に終了した年度（以下「当年度」）において、米国債券市場は僅かに下落しました。米国債券パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ米国総合債券指数は、マイナス0.48%のリターンとなりました。

米国経済は、コロナウィルスのパンデミックの影響から回復を続け、当年度において活発なペースで成長しました。堅調な個人消費と大規模な財政・金融刺激策に牽引され、米国の成長は他のほとんどの先進国を上回りました。現在も進行中のCOVID-19ワクチン接種プログラムがパンデミック関連の規制の緩和を加速させ、消費者は、旅行、レストランでの食事、対面での買物といった、以前は制限されていた活動に戻りました。また、消費財への支出も高止まりしており、過去最高の輸入額を記録しました。

しかし、この堅調な消費者需要と、パンデミックによるグローバル・サプライチェーンの継続的な混乱が重なり、インフレ率が大幅に上昇しました。同様に、労働市場においても、経済の再開と抑制された需要により雇用が加速し、失業率は大幅に低下しました。しかしながら、雇用総数は引き続きパンデミック前の水準を大きく下回り、賃金の上昇にもかかわらず、求人数は記録的に高いものとなっています。コモディティ価格の上昇と供給の遅延が特に当年度終わりに成長を抑制したものの、需要の高まりが資本財生産の増加を牽引しました。2021年夏の終わり頃から感染者数を大幅に増加させる原因となった、非常に感染力の強いデルタ変異株の出現も景気の重しとなりました。

米国連邦準備銀行（以下「Fed」）は、社債購入プログラムを打ち切ったものの、短期金利をゼロに近い水準に維持し、米国国債やモーゲージ証券の債券購入プログラムについてはかなりの規模を維持しました。Fedは2021年後半には債券買いの動きを減速し始めることを言及しており、2022年に金利上昇の可能性があることを示唆しました。しかし、雇用環境の改善や急激なインフレを受けて、投資家は金融引き締めの変更を加速を予想するようになりました。2022年に複数の金利が上昇する可能性が高いと投資家がみていることが、トレーディング活動より明らかになりました。

インフレが進み、投資家が株式や低格付け債に向かうにつれて、米国国債は下落しました。国内のインフレ期待の高まりが、インフレ環境で典型的に価値を失う米国国債に圧力をかけました。米国国債利回り（これは価格に反比例して変動する）は、当年度期首においては過去最低に近い水準でしたが、インフレが進み、景気回復が継続するにつれて全般的に上昇しました。インフレ感応度がより高い中長期満期の米国国債の利回りは、全般的に短期米国国債よりも上昇しました。しかし長期米国国債利回りの上昇率は中期米国国債よりも低く、2年物、10年物、30年物の米国国債利回りはそれぞれ0.34%、0.67%、0.28%上昇しました。

モーゲージ担保証券（以下「MBS」）は、Fedの債券購入による継続的支援にもかかわらず、僅かに下落しました。住宅保有者が低い金利を利用して低金利での住宅ローンへの借換えを行ったため、MBSのパフォーマンスは期限前返済によって抑制されました。

プラス面では、低格付け債を中心としたほとんどの社債が当年度において上昇しました。イールド・スプレッド（社債と米国国債の利回りの差異）の縮小は、米国国債に比べて社債のパフォーマンスを相対的に押し上げました。低金利環境下において投資家による利回り追求の動きが続いていることが、イールド・スプレッド

レドの縮小を牽引し、社債価格を支えました。景気拡大に伴い支払能力に対する投資家の懸念が後退し、また Fed の支援が投資家心理を押し上げたことから、ハイイールド債が最も上昇しました。企業が借換えと有利な借入コストでの固定のために低利回りを利用したことから、社債の発行は歴史的に高い水準で増加しました。

1. 運用の経過

i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF

2021年10月31日現在のファンド概要

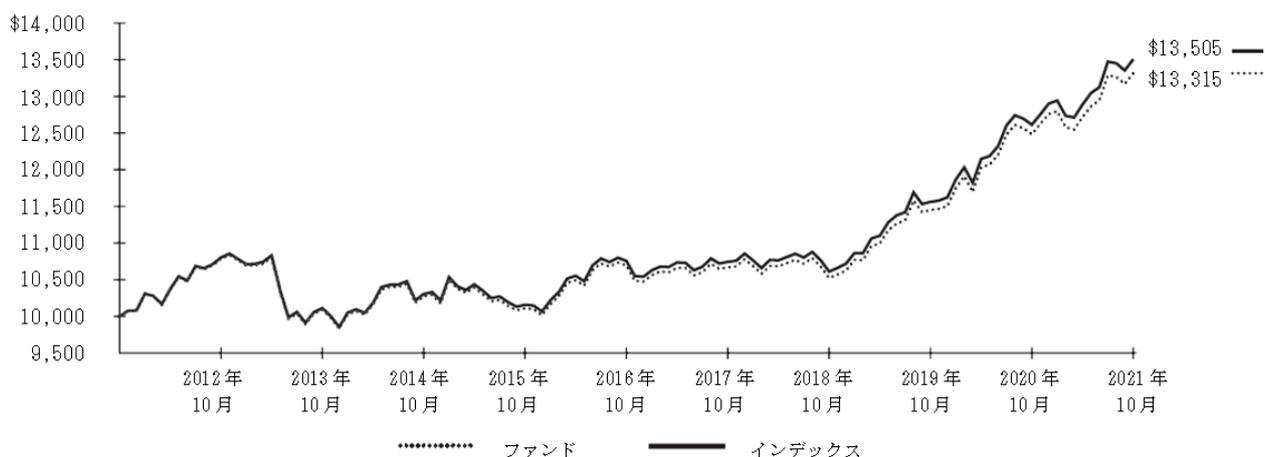
投資目的

i シェアーズ 米国物価連動国債 ETF (以下「ファンド」) は、ブルームバーグ・米国TIPSインデックス (シリーズL) (以下「インデックス」) (旧ブルームバーグ・バークレイズ・米国TIPSインデックス (シリーズL)) に代表される、米国財務省の物価連動国債からなるインデックスの投資成果に追随することを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	6.67%	4.48%	2.90%	6.67%	24.53%	33.15%
ファンドの市場	6.76%	4.47%	2.88%	6.76%	24.47%	32.78%
インデックス	7.07%	4.66%	3.05%	7.07%	25.55%	35.05%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2021年5月1日 1,000.00 米ドル	2021年10月31日 1,047.00 米ドル	0.93 米ドル	2021年5月1日 1,000.00 米ドル	2021年10月31日 1,024.30 米ドル	0.92 米ドル	0.18%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、ファンドの年率換算された費用比率（上記の表に開示される通り）および当期間中の日数（184日）を乗じ、当年度の日数（365日）で除すことによって算出されています。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

名目金利が上昇したにもかかわらず実質金利が低下したため、米国物価連動国債（以下「TIPS」）は当年度に上昇しました。インフレが進みインフレ期待も高まっていることから、TIPSからの実質収益に対する強い需要が牽引されました。

消費者物価指数で測定される米国消費者物価は、2021年10月時点で前年比6.2%上昇と、過去31年で最も高い投資家の予想を上回る上昇を見せ、シェルター、食品、新車、エネルギー関連の価格が上昇の大半を牽引しています。コロナウィルスのパンデミックに関連した混乱に起因する消費者の抑制された需要とサプライチェーンの逼迫により、価格は上昇しました。また、人手不足と離職により賃金が過去40年で最も高い水準にまで上昇したことも、インフレ圧力を強めました。

現在から5年先までの5年間の期待インフレ率（年率）を計測した5年先物「ブレイク・イーブン」インフレ率は、当年度中に上昇し、期末には2.13%になりました。現在、すべての価格カテゴリーを含む総合インフレ率は上昇しているものの、景気が持ち直した後にはインフレ率は緩やかなものに戻るとの予想を反映した市場利回りが続いています。このような環境下で、インデックスのリターンに最も貢献したのは中期TIPSで、次いで長期TIPSでした。短期TIPSも、僅かながら貢献しました。

ポートフォリオ情報

満期別内訳

満期	総投資比率 ^(a)
1-5年	46.7%
5-10年	35.8
15-20年	1.5
20年超	16.0

組入上位 5 銘柄

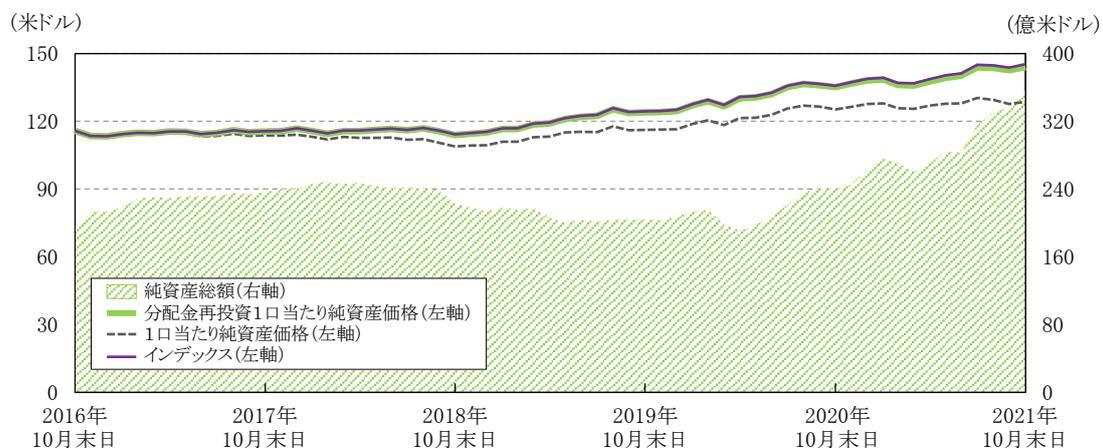
証券	総投資比率 ^(a)
U. S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.50%, 04/15/24	8.2%
U. S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.63%, 01/15/26	7.0
U. S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.13%, 01/15/30	6.4
U. S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.13%, 04/15/25	6.3
U. S. Treasury Inflation-Indexed Bonds, 0.13%, 01/15/23	4.3

^(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要		
投資顧問報酬	投資顧問報酬	平均日次純資産総額	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
	0.2000%	1,210億米ドルまで	
	0.1900%	1,210億米ドル超、1,810億米ドル以下	
	0.1805%	1,810億米ドル超、2,310億米ドル以下	
	0.1715%	2,310億米ドル超、2,810億米ドル以下	
	0.1630%	2,810億米ドル超	
その他の費用	0%		その他

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

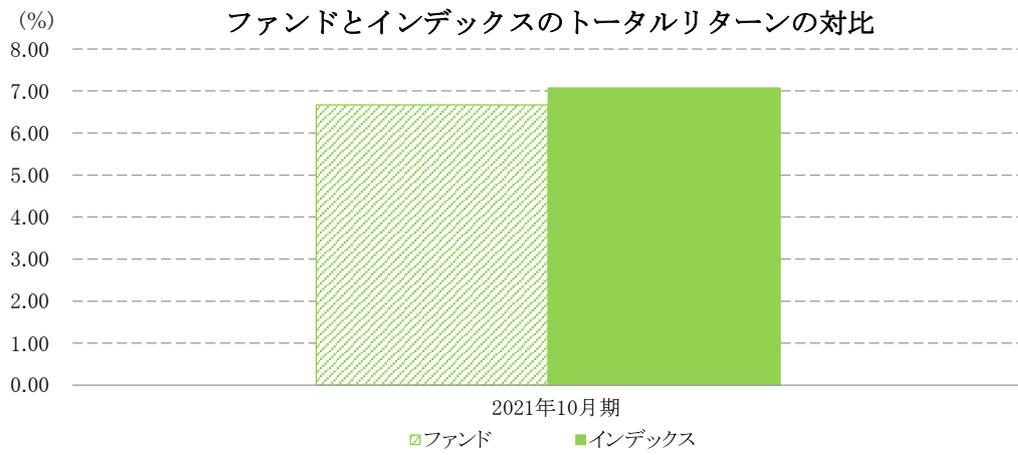


	2016年 10月末日	2017年 10月末日	2018年 10月末日	2019年 10月末日	2020年 10月末日	2021年 10月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	115.74	113.73	108.83	116.11	125.29	128.61
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	1.735016	3.408737	2.242556	1.250472	4.908521
ファンドのトータル リターン (%)	—	-0.23	-1.36	8.80	9.02	6.67
インデックスのトータル リターン (%)	—	-0.11	-1.24	8.96	9.09	7.07
純資産総額 (千米ドル)	19,722,002	23,633,497	22,223,190	20,436,063	23,956,337	35,868,635

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2016年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2020年11月1日～2021年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2020年11月2日	125.23	0.317835 (0.25%)	-0.55
2020年12月1日	125.77	0.132895 (0.11%)	0.68
2020年12月17日	127.05	0.023139 (0.02%)	1.30
2021年2月1日	127.77	0 (0.00%)	0.73
2021年3月1日	125.45	0 (0.00%)	-2.32
2021年4月1日	125.38	0.300063 (0.24%)	0.23
2021年5月3日	126.66	0.515196 (0.41%)	1.80
2021年6月1日	127.27	0.6807 (0.53%)	1.29
2021年7月1日	127.21	0.833478 (0.65%)	0.77
2021年8月2日	129.61	0.776963 (0.60%)	3.18
2021年9月1日	128.61	0.896202 (0.69%)	-0.10
2021年10月1日	127.68	0.43205 (0.34%)	-0.49

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2020年11月2日の直前の分配落日（2020年10月1日）における1口当たり純資産価格は、126.10米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、物価連動の米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、通常その資産の80パーセント以上をブルームバーグ・米国TIPSインデックス（シリーズL）（Bloomberg U.S. Treasury Inflation Protected Securities（TIPS） Index（Series-L））（以下「インデックス」といいます。）を構成する有価証券に、その資産の90パーセント以上をファンドがインデックスを追跡するために役立つとBlackRock Fund Advisorsが考える米国財務省証券に投資します。
運用方法	ファンドは、一般に「TIPS」として知られる、物価と連動した米国財務省の公的債務の実績を測定するインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの証券に投資すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方自治体もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、ファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。 6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。

分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻繁に分配を行うことができません。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。
------	---

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2021年10月期末現在）

組入上位資産

(注) 組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

(注1) ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

(注2) ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2021年10月期末	
1口当たり純資産価格	128.61米ドル
純資産総額	35,868,635,300米ドル
発行済口数	278,900,000口

2021年10月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
154,000,000	66,300,000	278,900,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。